学校番号	301

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新・高校生の美術１（ 日文 ）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年間を通して『 知る、味わう、深める 』をテーマに制作・鑑賞をします。
１年生では“知る”に重点を置き、幅広い表現を学びます。
美術を通して自分と向き合い、自分を表現してください。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することをめざす。

【 知識及び技能 】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

【 思考力、判断力、表現力等 】造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

【 学びに向かう力、人間性等 】
主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考えている。 ・主題を生成し創造的に発想し構想を練っている。 ・価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

	題材	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	半分を描こう	お菓子のパッケージを鉛筆で描く。	a:鉛筆の効果や特性を理解しながら制作している。 c:主体的に工夫し自分なりの表現活動に取り組んでいる。	授業観察 作品		授業観察 制作レポート
	身近なものを描く	普段見慣れているものを改めてよく観察してみると、美しさや面白さなど、新たに魅力を感じることがある。感じ取った魅力や雰囲気を、形や色を工夫して表現しよう。	b:新たに発見した魅力的な部分や雰囲気を、鉛筆の効果を生かしながら、自由な発想で表現しようとしている。 c:主体的に工夫し自分なりの表現活動に取り組んでいる。		授業観察 作品	授業観察 制作レポート
2学期	色について	色相環とグラデーションをアクリル絵の具で着彩する。	a:色彩の効果やアクリル絵具の特性を理解しながら着彩している。 c:主体的に工夫し自分なりの表現活動に取り組んでいる。	授業観察 作品		授業観察 ワークシート
	有名人を描こう	有名人の顔を、明暗分割で立体的に見えるように、明度・彩度・配色等を工夫し、アクリル絵の具で表現する。	a:２学期前半で学んだ色彩学習を踏まえ、表現に取り組んでいる。 b:配置などに工夫をこらし創造的な表現を考え、表現の構想を練っている。 c: 主体的に自己を見つめ、感じ取ったことを表現しようとしている。	授業観察 練習課題	授業観察 作品	授業観察 制作レポート
3学期	名画を知ろう	教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学ぶ。	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての自分なりの考えをまとめている。 c:作家の感じ方や制作活動への思いを主体的に感じ取り、感じたことをまとめている。	授業観察 ワークシート	授業観察 ワークシート	授業観察 ワークシート
	寄木細工	「箸置き」 「蓋のある小物入れ」 寄木を組み、蓋のある小物入れを制作する。	a:「箸置き」 指定された形に寄木を組み、金ヤスリを削る。この制作を通して寄木の特性を理解する。 b:「蓋のある小物入れ」	授業観察 作品	授業観察 作品	授業観察 制作レポート

			「箸置き」の制作で学んだ経験をいかし、用途と見栄えの両方を考えながら、構想を練っている。 c:主体的に工夫し自分なりの表現活動に取り組んでいる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度